

# 議員と語りかい 報告書

No 1

開催日	平成 24年11月 5日 10:30~ 12:30		
開催場所	霧島市議会 議会棟4F 第3・4委員会室		
団体名	霧島の食を考える会	参加人数	5人
出席議員(4班)	常盤 信一・池田 守 蔵原 勇・前川原 正人・時任 英寛・脇元 敬		
役割分担	班 長 ( 前川原 正人 )	記録係 ( 脇元 敬 )	
テーマ及び具体的な内容	<p>(テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>霧島ブランドと子どもたちを守るため、今、何をすべきか。</li> </ul> <p>(具体的な内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>放射性物質により汚染された家畜の餌や肥料等の流入を防ぐことで、霧島ブランドの畜産、農業、水などの安全を確保することの重要性についての認識と対策について</li> <li>給食の放射性物質に対する検査体制及び産地の制限・公表についての現状と今後の対策について</li> </ol>		
意見交換会での主な意見等	<p>◆放射性物質により汚染された家畜の餌や肥料等の流入を防ぐことで、霧島ブランドの畜産、農業、水などの安全を確保することの重要性についての認識と対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私たちが霧島市を選んだ理由として、福島第一原発からの距離、沖縄や離島を除いて最も遠いところにあるということがまず第1である。そして空港からの距離。それと、自給率の高さで霧島市を選んだ。</li> <li>一番遠い沖縄に居ても東京のものが結構入ってくるので、産地等を選んでこちらでやっていく意味では霧島市は非常に選びやすい場所であると思う。</li> <li>腐葉土を使う農家の方も、自分の家で畑つくっている方も、知らないうちに肥料を買ってきて汚染されていけば、野菜も汚染されたものになってしまう。そこをどうかしなきゃいけないんじゃないかと思う。産地を見て選んでも信用できないことになる。</li> <li>4ベクレル検出ができるゲルマニウム半導体検出器が、札幌市、松本市でも使われているが、高いだけあって性能がいい。1,500万円から2,000万円する。どっちの機械かちょっと把握していないが、この機器に限らず検査をしているのが、千葉市、武蔵野市、横浜市、藤沢市、京都市。世田谷区では、10月16日から検査を一般の区民に対しては無料でスタートしている。</li> <li>霧島ブランドとして移住してきた人間からすると、一番に安心安全な食・給食を提供してほしいと思っている。</li> <li>地元の食材の「きりしまんま」についても、すごく素晴らしいと思っているので、もっと力を入れていただきたい。東京のほうからも九州方面移住したいと考えている方が本当に多いので、目に見えて体調が悪化してきた時に、移住する人がきっと増えると思う。その時に、まず食の安全が確保されていることが子どもを持つ立場としてはポイント。そこをきっちりやるのが、霧島は素晴らしい土地なので、この霧島の人口を増やしていくことにつながると思う。素人考えだが、この霧島のためにも、子供たちのためにも、ぜひ議会で取り上げてほしい。</li> </ul>		

# 議員と語りかい 報告書

No. 2

◆給食の放射性物質に対する検査体制及び産地の制限・公表についての現状と今後の対策について

・鹿児島県の学校給食モニタリング事業のホームページには、鹿児島県の場合は、10ベクレルというのが県の基準になっており、それを月曜日から、月、火、水、木、金と5日間分を混ぜて、熊本に検査に出して調べているようだが、それだけでは不十分なのではないか。札幌市のように4ベクレルまで測定できる機器があり、いいなと思う。また鹿児島県では、事前ではなく給食を食べた後から発表されるので、「食べた後に数値が高くできました」と言われてもしょうがないので、事前に知りたい。

・国分エリアで、給食センターをつくるかもしれないというのを聞いたが、地元の食材を使って自校方式でやっているのに、それを給食センターに替えてしまっただろうかという思いがある。その辺はどうなっているのか。

意見交換会での  
主な意見等